



川越市立大東西中学校 学校だより

きらめき

令和8年1月8日発行
第9号
川越市立大東西中学校
校長 小川 潤也

学校教育目標 『豊かな心をもち、たくましい生徒 ～ 夢や希望をもつ生徒 ～ 』

○自ら考え、自ら学ぶ生徒 ○豊かな心を育む生徒 ○心身の健康に努める生徒

3学期のスタート～なりたい自分を目指して～

校長 小川 潤也

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎えると何となく厳かな気分になり、夢と希望があふれます。

令和8年がスタートすると同時に、学校では、令和7年度末を迎えます。改めて、進級・進学に備えて、生徒たちが『豊かな心をもち、たくましい生徒（学校教育目標）』に育つよう、『学び合い、認め合う中で、自己を磨き高めることができる学校』を目指し、教職員一同、新たな気持ちで、生徒たちのために、各学年のまとめをしっかりと行ってまいります。保護者の皆様・地域の皆様におかれましても、引き続き本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今日から3学期のスタートとなります。私は、「3学期は、次の学年のゼロ学期」と考えています。つまり、新年度の準備の学期です。生徒たちには、進級・進学に向かって、次の学年の準備を少しずつ始めてほしいと願っています。しかし、準備といっても、何か特別なことをするのはありません。毎日の生活・学習を振り返り、当たり前のこと、すべきことをしっかりと行うことだと考えています。

『当たり前のことを当たり前にする』実は、これが一番難しいのです。日常を“しっかりと”することは、自分を律し、習慣化しないとできないことだからです。

“進んで勉強すること” “人の話を聞くこと” “忘れ物をしないこと” “クラスメートに協力すること” “言葉づかいに気を付けること” 等が、習慣になっているでしょうか。私が再三にわたり、学校朝会で生徒たちに話す言葉の中に「なりたい自分」という言葉がありますが、生徒たちが、「こうなりたい」という目標に向かって取り組んでいくためには、学校だけにとどまらず、ご家庭での協力が必要です。3学期は、学年のまとめであると同時に、新しい一歩、さらなる成長へとつながる大切な時間です。一日一日を大切に積み重ねる中で、生徒一人一人が、「なりたい自分」に少しでも近づいていけるよう、私たち教職員一同、全力で支えてまいります。本年も、学校・家庭・地域が手を取り合いながら、生徒たちの成長を見守っていければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。